

日本力強化宣言。



いとう たつや

# 伊藤達也

元金融担当大臣／衆議院議員／松下政経塾出身

VOICENETmini  
2009年1月号

発行所  
フォーラムフロンティア  
(伊藤達也連合後援会)  
〒182-0024  
調布市布田1-3-1  
ダイヤビル2F  
TEL 042-499-0501  
FAX 042-481-5992

## 新年あけましておめでとうございます。

政治への厳しい声を厳粛に受けとめて、信認を回復できるよう相当の努力をしてまいります。特に、麻生政権になって改革が後退しているのではないかと懸念の声が聞かれます。経済対策についても、本来の生活支援や景気対策といった趣旨についての理解が広がらず、自民党もバラマキの古い政治に戻ったのではないかと受け止め方がなされています。

**与野党がバラマキ政策を競い合う先に、日本の未来はありません。**なぜなら失われた10年と同じことを繰り返すことになるからです。100年に一度の大津波といわれるのは、その背景に100年に一度というような経済・社会の大きな構造変化があるからです。たとえば先進国が成熟化し十分な国内需要をつくり出せず、米国だけが世界経済を引っ張ることに限界が来ているのです。

**日本の経済を再生させていくには、内需を拡大**していかなければなりません、それは容易なことではありません。

しかし日本には1500兆円の個人金融資産があり、また環境問題をはじめ地球的課題を解決することができる技術力があります。世界同時不況の中で、今、日本が取り組むべきことは、こうした日本の持つ力を再評価し、その力を活用しながら新たな需要をつくり出す「日本力強化」とも言うべき構造改革を進めることです。

**企業の資金繰り支援や雇用対策の強化はもとより、霞ヶ関のあり方を変え、社会保障や地方分権など日本の経済・社会の「構造改革」を断行**します。大変革期だからこそ「ピンチをチャンスに転じる」政策と気概を持って、活力あふれる成長国家をつくるために全力で取り組んでいきますので、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



衆議院議員 **伊藤達也**

## さまざまなメディアで発信中！



10/24(金)TV朝日「朝まで生テレビ！」

テーマ: 激論！世界金融危機とニッポン

「(日本は)不良債権処理を行なった後、規制改革を行ない成長力を上げていく改革が必要だった。これがまだ道半ばだ」(番組中の発言より)



10/4(土)TV東京「田勢康弘の週刊ニュース新書」

テーマ: 米国発金融危機の連鎖、日本はどう乗り切るのが

「内需を引き出す規制の改革、税制改革、経済の体質を変える構造改革が必要。世界は日本の技術力を改めて評価する時代になると思う」

キーパーソンが連日登場！



11/28(金)朝日ニュースター「ニュースの深層」

テーマ: 日本経済の立て直し方

「イノベーションを強化して、新しい需要を生み出す好循環をつくりだすための、財政出動・税制改正を考えていかなければならない。例えば環境技術だ」



11/24(月)BS11「西川のりおの大人の自由時間」

テーマ: 底なし金融不安、政治の責任は

「公務員の人件費が削れないのは給与法で守られているから。そこに踏み込むことは民主党ではできない。われわれは上げ潮政策でそれをやるべきだと訴えてきた」

## 伊藤達也のこれまでの歩み

<昭和36年7月6日(47歳)かに座O型>

### 松下政経塾へ

母の闘病生活の中で医療や福祉政策の大切さと制度の矛盾に向き合い、松下政経塾の門を叩く。政治への志を固めた。

### ピザ屋で学んだ資金繰り

夫婦ではじめたピザ店。生まれたばかりの長男を背負い資金繰りに追われながらピザを焼いた。この経験が中小企業政策や金融政策の立案につながっていく。

- 1984年 調布第一小、調布中、慶大法卒。松下政経塾(5期生)
- 1987年 米国カリフォルニア州立大学院行政学部客員研究員
- 1993年 衆議院議員総選挙で初当選(以来、連続5回当選)
- 2000年 通商産業政務次官、衆環境委理事
- 2002年 内閣府副大臣(金融担当) 03年(経済財政政策を兼任)
- 2004年 金融担当大臣 不良債権問題を解決
- 2006年 政調会長補佐 07年 幹事長補佐
- 2008年 内閣総理大臣補佐官(社会保障制度改革を含む経済構造改革担当)
- 現在 衆国家基本政策委員会理事、党中小企業調査会長、e-Japan特命委幹事長



政策提言する「達也の直球勝負」  
ほとんど毎日更新中「伊藤達也ブログ」など内容充実！

伊藤達也

検索

<http://www.tatsuyaito.com>

伊藤達也事務所: 〒182-0024 調布市布田1-3-1 ダイヤビル2F TEL 042-499-0501 FAX 042-481-5992